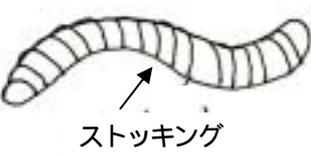


1.主 題	びっくり！！ミミズの不思議		
2.日 時	平成18年 6月 30日(金)	9:30~10:20	
3.対象児	ちゅうりっぷ1組(3歳児)	男児6名・女児7名 計13名	
4.ねらい	(1)ミミズの生態や動きについて知ることで、生き物への興味・関心を深める。 (2)ミミズとのふれあいを通し、不思議や驚きの体験を楽しむ。 (3)保育者の話を聞く姿勢を身につける。		
5.子どもの実態	(1)活動の実態 身近な生き物に興味を示し、アリやダンゴムシなどの昆虫を捕まえたり、観察したりする姿が見られる。 (11/13人) 活動や遊びの途中で疑問に思ったことや、不思議に感じたことを「どうして?」「何でなの?」と保育者に質問する。 (8/13人) 新しいことに興味を持って意欲的に取り組むことができる。 (13/13人) (2)生活の実態 基本的な生活習慣が少しずつ身につく、身の回りのことを自分でやろうとする。しかし、うまくできないと「やって」「できない」と保育者に訴える。 (13/13人) 自分の思いを言葉で伝えようとするが、うまくいかずに友達とトラブルになってしまうこともある。 (9/13人)		
6.ねらい達成のための仮説と主な活動	(1)身近な生き物の観察を通し、より自然への興味・関心が深まるだろう。 (2)生き物を見たり、実際に触れたりすることで不思議や驚きの体験を十分に楽しむことができるだろう。 (3)日頃から興味のある指導をしていけば、話を聞く姿勢が身についていくだろう。		
7.準備物	観察用ケース(8)・スコップ(15)・ミミズの模型(4)・不思議な箱(3)・タオル(3)		
8.活動過程			
時刻	活動(環境構成)	予想される子どもの活動	保育者の 指導・ 支援
9:30	(1)プレ活動 リズム遊び 英語の歌  (2)導 入 不思議な箱 ・箱を作り、その中に手を入れ何が入っているか当てっこをする。	・いつも通り元気に活動に参加できる子がほとんどだが、緊張したり不安そうにしている子もいる。  ・「何それ?」「やだ~!こわい!」とドキドキしている子どもたち。 ・友達が箱の中に手を入れるのを、じっと見たり、ニコニコしながら見たりしている。 ・「何かいる!」と箱の中身に気付く子もいる。	緊張している子、不安そうな子には声をかけ、安心して活動に取り組めるようにする。  子どもたちが楽しく、興味を持って活動に入ることができるようにする。 順番を守って活動できるようにする。 箱の中のミミズを見せ、みんなで畑にいった時のことを思い出させる。

<p>9:40</p>	<p>(3)活動1</p> <p>ミミズの観察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミミズはどうやって歩く？</li> <li>・ミミズの目はどこにあるかな？</li> </ul> <p>観察のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミミズの模型を使って、ミミズの動きや体のしくみを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「先生見て！」「すごいよ」と自分が見たことを、保育者や友達に伝えようとする。</li> <li>・体の様子を子ども同士で話し合いながら観察している。</li> </ul> <div data-bbox="539 369 906 638" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ミミズの模型</p>  </div>	<p>観察のポイントを教えることでねらいに沿った観察ができるようにする。</p> <p>全員がミミズの観察を十分にできるよう援助していく。</p> <p>ミミズの模型を作り、それを使って楽しくミミズの体について知ることができるようにする。</p>
<p>9:55</p>	<p>(4)活動2</p> <p>ミミズを土の中から探してみる。</p> <p>ミミズが住む土について知る。</p> <p>ミミズのいる土とない土があることを知る。</p> <p>ミミズのいる土には栄養があり、作物が取れることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どこにいるかな？」とわくわくした表情で土を掘り、ミミズを探し始める。</li> <li>・興味はあるものの、怖がってなかなか手を伸ばせない子がいる。</li> <li>・ミミズの意外な動きに驚いたり、喜んだりする。</li> <li>・「こっちの土にミミズがいたよ」と畑の土のほうを指差す。</li> <li>・「そっちにはいなかった」と砂場の砂を指差す子もいる。</li> <li>・「知ってる！」「お砂場の砂だね！」と土の違いに気付いたことを話す。</li> <li>・「畑はミミズがいた！」「栄養があるの？」「だからジャガイモとかできたんだ！」と自分たちの体験と重ね合わせて、土の違いや土の栄養について理解することができる。</li> </ul>	<p>子どもの言葉を大切に受け止めながら、みんなで考え、理解していけるようにする。</p> <p>子どもと一緒にミミズの観察をし、驚きや楽しさを共感する。</p> <p>友達の意見も聞くことができるようにする。</p> <p>うまく発表できない子は、保育者が言葉を引き出し、自分の思いを他児に伝えられるようにする。</p> <p>ミミズの役割について伝える。</p> <p>ミミズのいる土は良い土であることを伝え、自分たちの畑も良い土になっていることを教える。</p> <p>今後の活動へ期待を持たせる。</p>
<p>10:15</p>	<p>(5)活動のまとめ</p> <p>土の中には他にもいろいろな生き物がいることを伝え、次の活動への期待を持たせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畑に行ったときのことを思い出しながら、次の活動に期待を膨らませることができる。</li> </ul>	